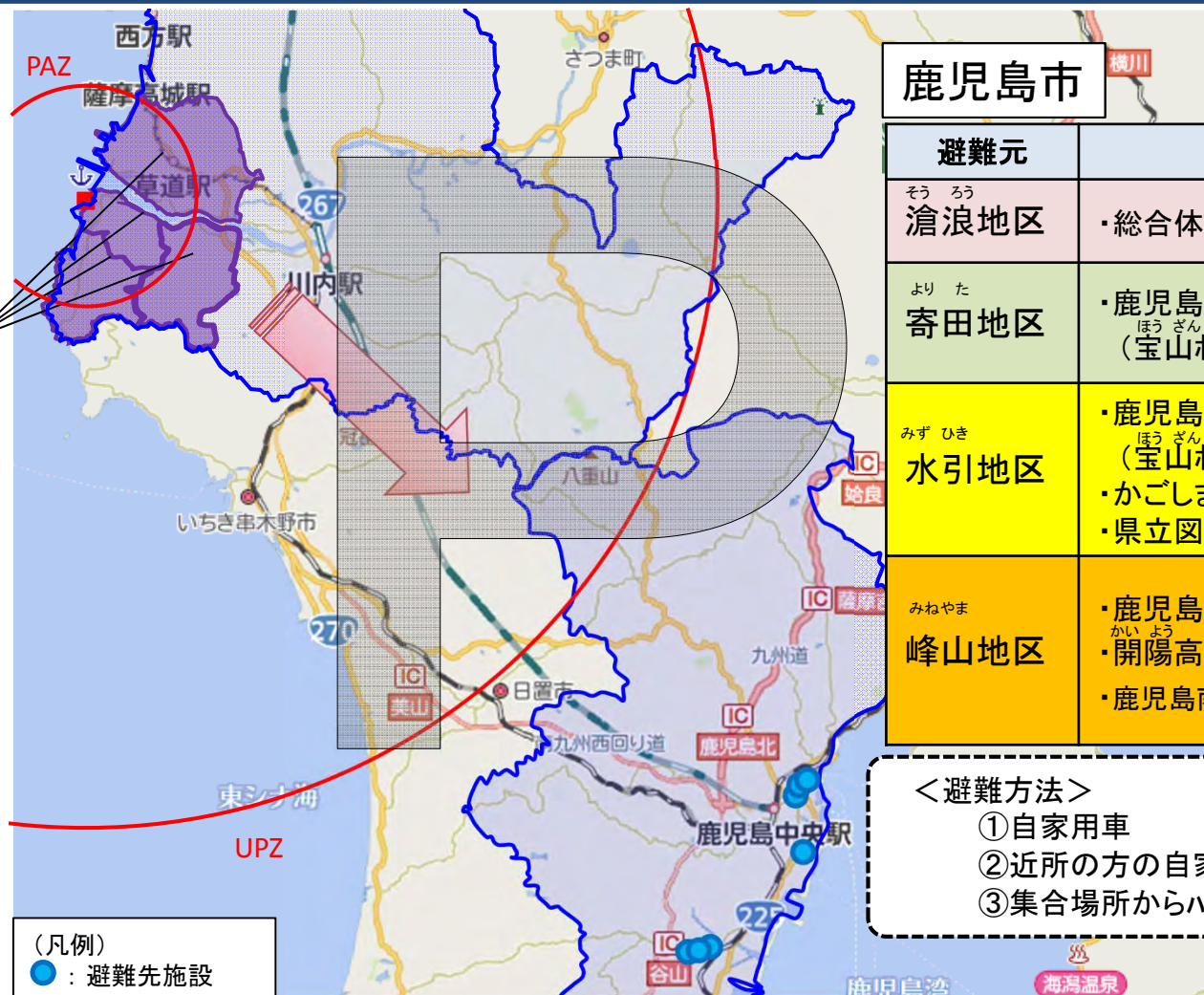


PAZ内の住民の避難先

- 薩摩川内市の4地区（滄浪地区、寄田地区、水引地区、峰山地区）住民の避難先については、鹿児島市内の4施設への避難先を確保。
- 4地区における避難先については、**平時から**避難計画に関する住民説明会等を通じて対象となる住民に周知。

PAZ内人口	
そうろう 滄浪地区	375人
よりた 寄田地区	285人
みずひき 水引地区	2,564人
みねやま 峰山地区	1,300人
合計	4,524人

※ 平成29年4月1日現在



鹿児島市	
避難元	避難先
そうろう 滄浪地区	・総合体育センター-武道館
よりた 寄田地区	・鹿児島県文化センター (宝山ホール)
みずひき 水引地区	・鹿児島県文化センター (宝山ホール) ・かごしま県民交流センター ・県立図書館本館
みねやま 峰山地区	・鹿児島盲学校体育館 ・開陽高等学校体育館 ・鹿児島南高等学校体育館

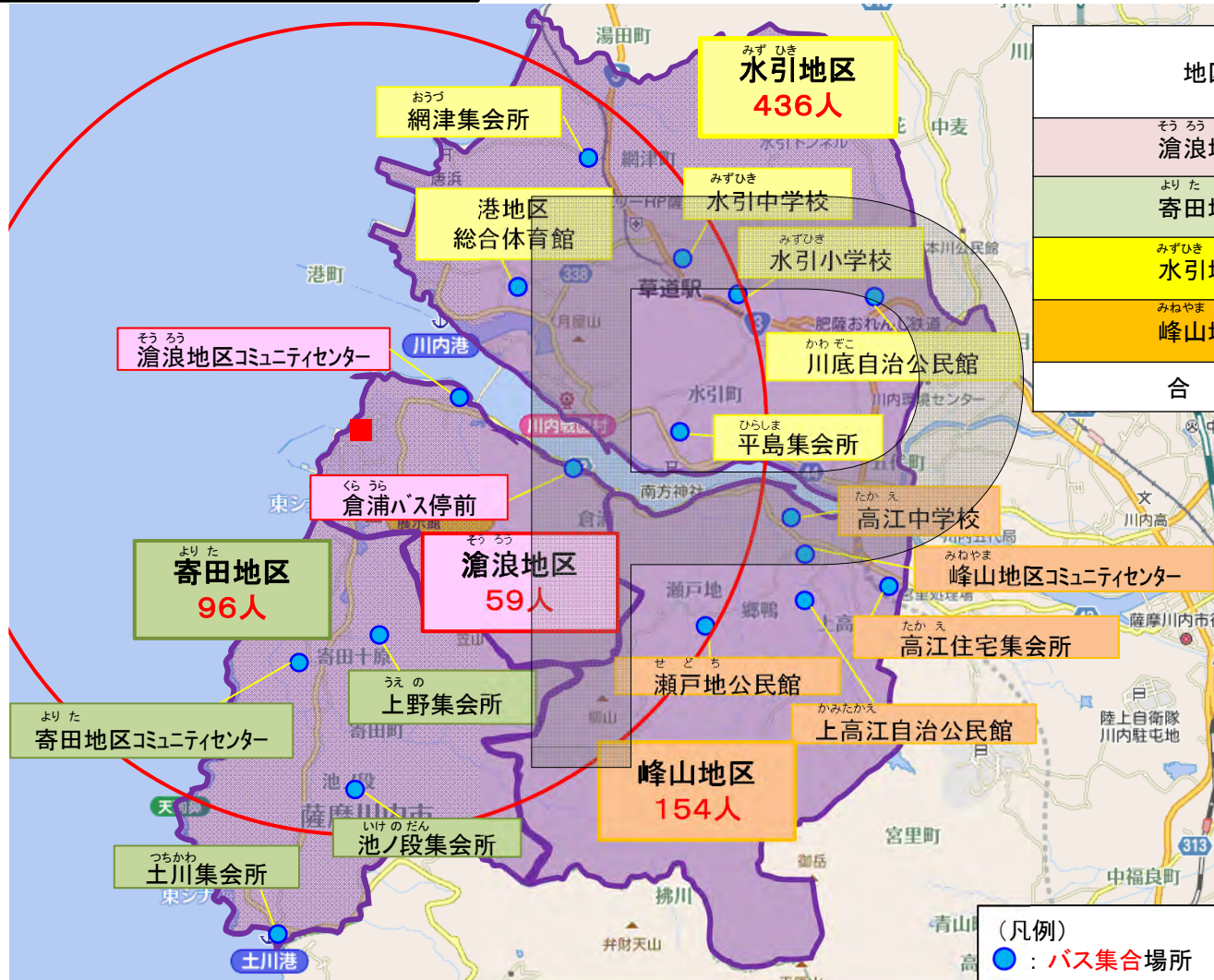
<避難方法>

- ① 自家用車
- ② 近所の方の自家用車に同乗
- ③ 集合場所からバス等

自家用車で避難できない住民の数

さつ ま せん だい し そう ろう より た みず ひき みね やま
 ▶ 薩摩川内市の4地区（滄浪、寄田、水引、峰山）を対象とした市による戸別訪問調査の結果、自家用車で避難できない住民は全4,524人のうち合計745人。

自家用車で避難できない住民の集合場所



地区	人口	バス避難者数
滄浪地区	375人	59人
寄田地区	285人	96人
水引地区	2,564人	436人
峰山地区	1,300人	154人
合計	4,524人	745人

※人数は平成29年3月末現在

(凡例)
● : バス集合場所

全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民約750人分、バス25台。
- 鹿児島県は、災害時等におけるバスによる緊急輸送等に関する協定※に基づき、県内のバス会社から必要となる輸送手段を調達。
- 車両及び運転者については、災害時等におけるバスによる緊急輸送等に関する協定により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 (最大) (人) ※	想定必要バス数 (最大) (台)	備考
自家用車で避難ができない住民	750	25	1台のバスが複数箇所をまわり乗車 1台当り30人程度の乗車を想定

＜全面緊急事態での輸送能力の確保＞

	確保車両台数(台)	備考
	バス	
(A)最大必要車両台数	25	
(B)車両確保台数	合計25以上	
九州電力が配備する車両(B1)	7	九州電力が確保する車両を使用 (施設敷地緊急事態要避難者の避難時に使用した車両を再利用) ※バスは、地元バス会社所有
県が協定に基づき調達する車両 (B)－(B1)	18以上	保有車両台数約1,500台

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※ 鹿児島県と公益財団法人鹿児島県バス協会(協力事業者33社)が、平成27年6月26日に締結

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

- ▶ 地域毎にあらかじめ複数の避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。
- ▶ 自家用車で避難できない住民は、徒歩等でバス避難集合場所に集まり、鹿児島県等が配車した車両で避難先まで避難を実施。

